

I

学部教育の理念と目標

- 学部教育の理念と目標
- 教育上のポリシー等

学部教育の理念と目標

—医学部医学科の教育について—

医学部長 ● 小 玉 正 太

医学部医学科は、昭和47（1972）年に開設されました。医学科の使命は、教育、診療、研究の3本の柱にあります。これらそれぞれの使命に対応するように、「人間性豊かな臨床医の育成」、「地域社会への医療奉仕」、「重点的総合研究体系の確立」の3つの基本理念を掲げています。私たちは、アウトカム基盤型教育を取り入れ、福岡大学（FU）医学生は、卒業時に、1）自尊心と高い倫理観を有し、他者と信頼関係（Relationship）を築くことができる、2）確かな知識（Intelligence）と技能に基づいた、人にやさしい（Gentleness）医療を実践できる、3）グローバルな視野で地域の健康増進（Health）と疾病予防に貢献できる、4）科学的探究心、論理的思考を身に付け、教育的指導（Teaching）ができることを謳っています。頭文字をとったFU-RIGHTプロジェクトがスタートしています。現在、出口から入口に向かって進捗を確認し、カリキュラム改革を行っているところです。

医学生の大きな目標は、医師国家試験に合格し、医師の資格を取得することにあることは言うまでもありません。しかし、6年間の学生生活は、医師としての長いキャリアのスタートの時期であり、集中して医学を学ぶ貴重な時間です。この6年間を目先の試験対策、受験テクニックの獲得に費やすか、医学の知識、技術、医師としての姿勢を修得する時間として過ごすのかは、その後の医師としての人生を大きく左右することになるかも知れません。

医師は医療技術の専門家であると共に人間の生命を扱う職業でもあります。従って、社会は医師に信頼するにふさわしい人間であることを期待しています。医師を目指す医学生に対しても、社会は同様な期待を抱いています。皆さんは、国民の期待に応える準備をしなければいけません。自らの人間性、人格を磨くことも忘れてはいけません。

本医学科は学年制をとっています。それぞれの学年に求められる到達目標を達成したか、各学年の進級判定で厳しく問うこととなります。各学年の到達目標を十分に理解したうえで勉学に励み、クラブ活動等にも積極的に参加し、有意義な学生生活を送ることを祈っています。

本医学科は、最善のカリキュラムを用意し、情熱をもって皆さんの学習の支援をします。

教育上のポリシー等

学位（教育）プログラムとは

学位を授与するために編成された教育課程のことを指します。

ディプロマ・ポリシー（DP）とは

各大学、学部・学科等の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた者に卒業を認定し、学位を授与するのかを定める基本的な方針であり、学生の学修成果の目標ともなるものをディプロマ・ポリシー（学位授与方針）といいます。

カリキュラム・ポリシー（CP）とは

ディプロマ・ポリシーの達成のために、どのような教育課程を編成し、どのような教育内容・方法を実施し、学修成果をどのように評価するのかを定める基本的な方針をカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）といいます。

FU-RIGHT とは

医学部医学科生が卒業時に達成しなければならない学修成果です。

これは、福岡大学医学部医学科の教育プログラムを学修成果基盤型医学教育（Outcome-Based Education：OBE）に移行するにあたって設定されたものです。OBEは、医学教育のグローバルスタンダードであり、福岡大学の医学部医学科も、この医学教育の国際基準に合致したプログラムづくりを目指しています。

カリキュラム・マップとは

カリキュラム・マップとは、授業科目と教育目標の関係を示した表であり、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）に基づき、各科目が卒業するまでに身につける能力のどの項目と関連するのかを示します。

カリキュラム・ツリーとは

卒業までに身につけるべき知識・能力を得るための授業科目が、どのように配置されているか、各授業科目の対応関係や履修・学修における道筋を示したものをカリキュラム・ツリーといいます。

学位（教育）プログラムにおけるディプロマ・ポリシー（DP）、カリキュラム・ポリシー（CP）、FU-RIGHT、カリキュラム・マップ、カリキュラムツリーを次ページより掲載します。

共通教育科目のDP、CP、カリキュラム・マップ、カリキュラム・ツリーについては、FUポータルに掲載しています。

【掲載場所】

FUポータル▶授業関連▶履修系統図（カリキュラム・ツリーおよびカリキュラム・マップ）
▶履修系統図（令和6年度入学生）▶共通教育

[医 学 部]

◎ディプロマ・ポリシー (DP)

医学部の教育課程においては、以下に掲げる能力をそなえ、医療のプロフェッショナルとしての誇りと広い視野を持ち、厳格な成績評価のもとで所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 基本的な医療専門知識と技能を身につけている。
2. 主体的に課題を探究し、問題を科学的・論理的に解決することができる。
3. 保健・医療・福祉・公衆衛生等社会医学に国際的視野を持っている。
4. 人間性と倫理観に基づく医療現場での行動とコミュニケーション能力を備えている

【共通教育】

共通教育のDPに関しては別に定める。

共通教育に関するDPをもって学部DPを構成する。

◎カリキュラム・ポリシー (CP)

【教育内容】

- 1) 早期臨床医学体験、研究室配属：低学年時からの臨床医学の入門的講義や早期臨床医学体験実習を通じて、医療における個人情報保護や生命倫理の重要性を修得し、早期から医療人としてのプロフェッショナルリズムを育成します。また、研究室配属による研究体験等を通じて、科学的問題に対応する研究マインドを涵養し、研究能力の重要性を学びます。
- 2) 基礎、臨床医学・看護学教育：科学、医療の進歩を踏まえ、医療、看護を学ぶ上での基盤となる基礎医学、基礎看護学、また、臨床医学、臨床看護学、社会医学、社会看護学の知識を低学年から高学年になるに従い段階的に積み上げ、診療や看護に応用できる総合的な医学・看護学の知識の修得を目指します。
- 3) 臨床実習：医療において病歴や診察所見に基づいた臨床推論を行い、また、適切な医療遂行のために必要なEBM (Evidence-Based Medicine) や医療安全・感染対策の知識、チーム医療の重要性を学び、POS (Problem-Oriented System) を用いて、適切な診療録の記載の仕方やプレゼンテーションのやり方を学びます。一方、看護において、人の特性を理解し、多様な場で看護が実践できる基礎的能力を養います。

患者への共感的態度、説明・同意に基づいた患者の自己決定権の尊重など、全人的医療を目標とし、医療人としての基盤的素養を育成します。同時に、医師、看護師としての自尊心、向上心、リーダーシップ能力を育みます。

【教育方法】

- 1) 科目別の系統講義、科目間連携による統合講義、医療安全、感染症に関する病院講習への参加により、基礎、臨床知識の縦断的、横断的な習得と医師、看護師としての基本的知識を修得します。
- 2) 主体的な学習姿勢、能動的学修能力、課題解決能力や実践能力の向上のために、小グループによる問題解決のためのPBL (Problem Based Learning) や双方向型授業 (e-learning やポートフォリオ、レポート、ミニッツペーパー) 等の active learning を実践します。
- 3) 研究室配属による論文査読、レポート作成と発表、看護研究における論文作成と研究成果発表により、研究マインドの涵養を目指します。
- 4) 模擬患者を通じた疑似 (シミュレーション) 医療体験やロールプレイング、早期臨床実習 (地域基盤型 医療体験、病棟看護実習) の体験実習により、実臨床現場の理解と医療者としての自覚を促進します。

I. 学部教育の理念と目標

- 5) 参加型病棟実習において医療チームの一員として、実際に患者を受け持ち、問診、診察、臨床推論、カルテ記載、症例発表、看護ケアなどの体験により、実践的な医療人の育成を目指します。

【共通教育】

共通教育のCPに関しては別に定める。

共通教育に関するCPをもって学部CPを構成する。

[医学部医学科]

◎ディプロマ・ポリシー (DP)

学位 (教育) プログラム名 : 医学

【知識・理解】

- A - 1 基礎 (正常構造と機能、発達、成長、加齢、死、心理、行動)、臨床 (病因、構造と機能の異常、診断、治療)、社会医学 (医療安全、疫学、予防、保健・医療・福祉制度、医療経済) 等の知識を習得し、診療に応用できる。
- A - 2 最新の医学情報を収集し、論理的、批判的に評価し、正しく応用できる。
- A - 3 未解決の医学的、科学的問題を発見し、解決に取り組む事ができる。
- A - 4 自己の到達目標を設定し、自ら学ぶ機会を持つことができる。
- A - 5 診療、研究に国際的視野を持ち、情報収集と発信ができる。

【技能】

- B - 1 患者から病歴を的確に聴取でき、基本的な身体診察と臨床手技を実践できる。
- B - 2 患者の病歴、診察所見から臨床推論ができ、診断に必要な検査を選択し、結果を解釈できる。
- B - 3 頻度の高い疾患について、EBM (Evidence-Based Medicine) に基づいた診断、治療方針について説明できる。
- B - 4 患者の安全と感染防止を十分に理解し、チームの一員として診療に参加できる。
- B - 5 POS (Problem-Oriented System) を用いて診療録を記載し、カンファランスで適切にプレゼンテーションができる。

【態度・志向性】

- C - 1 生命倫理に基づいた医療、研究を遂行できる。
- C - 2 他者を尊重し、利他的な態度で行動でき、患者の個人情報保護を遵守できる。
- C - 3 多様な背景をもつ患者の意思決定を理解し対応できる。
- C - 4 医師としての自尊心と向上心を持ち続けることができる。
- C - 5 患者と家族、後輩、同僚、多職種医療者を尊重できる。

【共通教育】

共通教育の DP に関しては別に定める。

共通教育に関する DP をもって学位 (教育) プログラム DP を構成する。

【専門教育科目】

医学部医学科における卒業時学修成果に関しては、別に定めた「FU-RIGHT」でその詳細を示す。

上記の DP に加え、FU-RIGHT をもって学位 (教育) プログラムの DP を構成する。

◎カリキュラム・ポリシー (CP)

【教育内容】

- 1) 早期臨床医学体験、研究室配属 (第 1、2、3 学年) : 低学年時からの臨床医学の入門的講義や早期臨床医学体験実習を通じて、医療における個人情報保護や生命倫理の重要性を修得し、早期から医療人としてのプロフェッショナリズムを育成します。また、研究室配属による研究体験等を通じて、科学的問題に対応する研究マインドを涵養し、研究能力の重要性を学びます。
- 2) 基礎・臨床医学教育 (第 1、2、3、4 学年) : 科学、医療の進歩を踏まえ、医療の基盤となる解剖学、生化学、生理学、病理学などの基礎医学、内科学、外科学、放射線医学、検査医学などの臨床医

I. 学部教育の理念と目標

学、公衆衛生学などの社会医学、再生医療等の最新医療の知識を低学年から高学年になるに従い段階的に積み上げ、診療に応用できる総合的な医学知識の修得を目指します。

- 3) 診療参加型実習（高学年：第4学年後半、第5、6学年）：病歴聴取、身体診察、臨床手技など基本的な診察能力や診察所見に基づいた臨床推論を行います。また、適切な医療遂行のために必要な EBM (Evidence-Based Medicine) や医療安全・感染対策の知識、チーム医療の重要性を学び、POS (Problem Oriented System) を用いて、適切な診療録の記載の仕方やプレゼンテーションのやり方を学びます。また、実習を通じて、患者への共感的態度、説明・同意に基づいた患者の自己決定権の尊重など、医療人としての基本的素養を育成し、同時に、自尊心、向上心、リーダーシップ能力を育みます。

【教育方法】

- 1) 科目別の系統講義、科目間連携による統合講義、医療安全、感染症に関する病院講習への参加により、基礎、臨床知識の縦断的、横断的な習得と医師としての基本的知識を修得します。
- 2) 能動的学修能力の向上のために、小グループによる問題解決のための PBL (Problem Based Learning) や双方向型授業、シミュレーション学習などの active learning を提供します。
- 3) 研究室配属による研究体験を通じて、論文査読、レポート作成、発表等の研究マインドの涵養を目指します。
- 4) 模擬患者を通じた疑似医療体験や早期臨床実習（地域基盤型医療体験、病棟看護実習）の体験実習により、実臨床現場の理解と医療者としての自覚を促進します。
- 5) 診療参加型病棟実習により、医療チームの一員として、実際に患者を受け持ち、問診、診察、臨床推論、カルテ記載、症例発表などを体験し、実践的な医療人の育成を目指します。
- 6) 学外臨床実習により、大学病院では学べない common disease を多く経験すると共に、地域医療の実態を学ぶことによって、広い視野を持った医師の育成を行う。

【共通教育】

共通教育の CP に関しては別に定める。

共通教育に関する CP をもって学位（教育）プログラム CP を構成する。

福岡大学医学部医学科の使命(ミッション)

医療のプロフェッショナルとしての誇りと広い視野を持ち、患者に寄り添い、地域社会に貢献する医師の育成

福岡大学医学部医学科の学修成果(アウトカム)

福岡大学医学部医学科の学生は、卒業時に

- ① 自尊心と高い倫理観を有し、他者と信頼関係を築くことができる。
- ② 確かな知識と技能に基づいた、人にやさしい医療を実践できる。
- ③ グローバルな視野で地域の健康増進と疾病予防に貢献できる。
- ④ 科学的探究心、論理的思考を身に付け、教育的指導ができる。

上記の学修アウトカムは以下のコンピテンスの領域(I～VI)ごとのコンピテンシー(43項目)により達成されます。

I プロフェッショナルリズム

福岡大学医学部医学科の学生は、卒業時に医師としての使命と責任をもって医療を実践するために、高い倫理観と他者を尊重する人間性のもとに行動できる。

1. 医療者として法的責任、規則を遵守できる。
2. 生命倫理に基づいた医療、研究を遂行できる。
3. 他者を尊重し、利他的な態度で行動できる。
4. 患者の個人情報保護を遵守できる。
5. 多様な背景をもつ患者の意思決定を理解し対応できる。
6. 患者、社会、医療者に対して説明責任を果たすことができる。
7. 医師としての自尊心と向上心を持ち続けることができる。
8. 患者と家族、後輩、同僚、多職種医療者を尊重できる。

II 医学的知識

福岡大学医学部医学科の学生は、卒業時に基礎、臨床、社会学等の知識を習得し、診療に応用できる。

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 正常構造と機能 | 6. 医療安全 |
| 2. 発達、成長、加齢、死 | 7. 疫学、予防、公衆衛生 |
| 3. 心理、行動 | 8. 保健・医療・福祉制度 |
| 4. 病因、構造と機能の異常 | 9. 医療経済 |
| 5. 診断、治療 | |

III 診療技術・患者ケア

福岡大学医学部医学科の学生は、卒業時に患者の意思を尊重し、適切な診療を実践できる。

1. 患者から病歴を的確に聴取できる。
2. 成人、小児の基本的な身体診察と基本的臨床手技を実践できる。
3. 患者の病歴、診察所見から臨床推論ができる。
4. 診断に必要な検査を選択し、結果を解釈できる。
5. 頻度の高い疾患について、EBM(Evidence-Based Medicine)に基づいた診断、治療方針について説明できる。
6. 患者の安全と感染防止を十分に理解し、チームの一員として診療に参加できる。
7. POS(Problem-Oriented System)を用いて診療録を記載し、適切にプレゼンテーションができる。
8. 患者に必要な病状説明・意思決定の場に参加できる。

IV コミュニケーションとチーム医療

福岡大学医学部医学科の学生は、卒業時に患者とその家族、医療者、関係機関と円滑なコミュニケーションを実践し、患者中心のチーム医療に貢献できる。

1. 患者とその家族の個人的背景、文化、社会的背景を理解し、良好なコミュニケーションをとることができる。
2. 多職種の医療チーム内で信頼関係を築き、患者中心の医療のために情報を共有し、説明伝達ができる。
3. 他の医療者に、手順を守り適切にコンサルテーションできる。
4. 患者の医学情報を診療録に的確に記載し、医療チーム内で情報を共有できる。
5. 医療の国際化を認識し、英語で医療面接ができる。

V グローバルな視野と地域医療

福岡大学医学部医学科の学生は、卒業時に医療制度を理解して国際的、社会的な医療問題に関心を持ち、地域の関連機関と連携し、地域社会に貢献できる。

1. 医療制度、社会福祉制度を正しく理解した診療を実践できる。
2. 地域の医療機関、保健、福祉、行政等の関連機関と適切な連携がとれる。
3. 行政への届け出や社会福祉制度の必要書類を適切に作成できる。
4. 地域医療に参加し、プライマリケアが実践できる。
5. 海外からの患者の診療、医療者との交流が行える。
6. 国際保健や医療の社会的問題の情報を収集できる。

VI 科学的探究心と自律学習能力

福岡大学医学部医学科の学生は、卒業時に科学的探究心を持ち、生涯にわたり自己研鑽を継続することができる。

1. 基礎研究、臨床研究の理論と方法を理解することができる。
2. 最新の医学情報を収集し、論理的、批判的に評価し、正しく応用できる。
3. ICTを適切に利用し情報セキュリティ管理ができる。
4. 未解決の医学的、科学的問題を発見し、解決に取り組む事ができる。
5. 自己の到達目標を設定し、自ら学ぶ機会を持つことができる。
6. 診療、研究に国際的視野を持ち、情報収集と発信ができる。
7. 学生、後輩、同僚に対し教育者として貢献できる。

(2017.5.10)

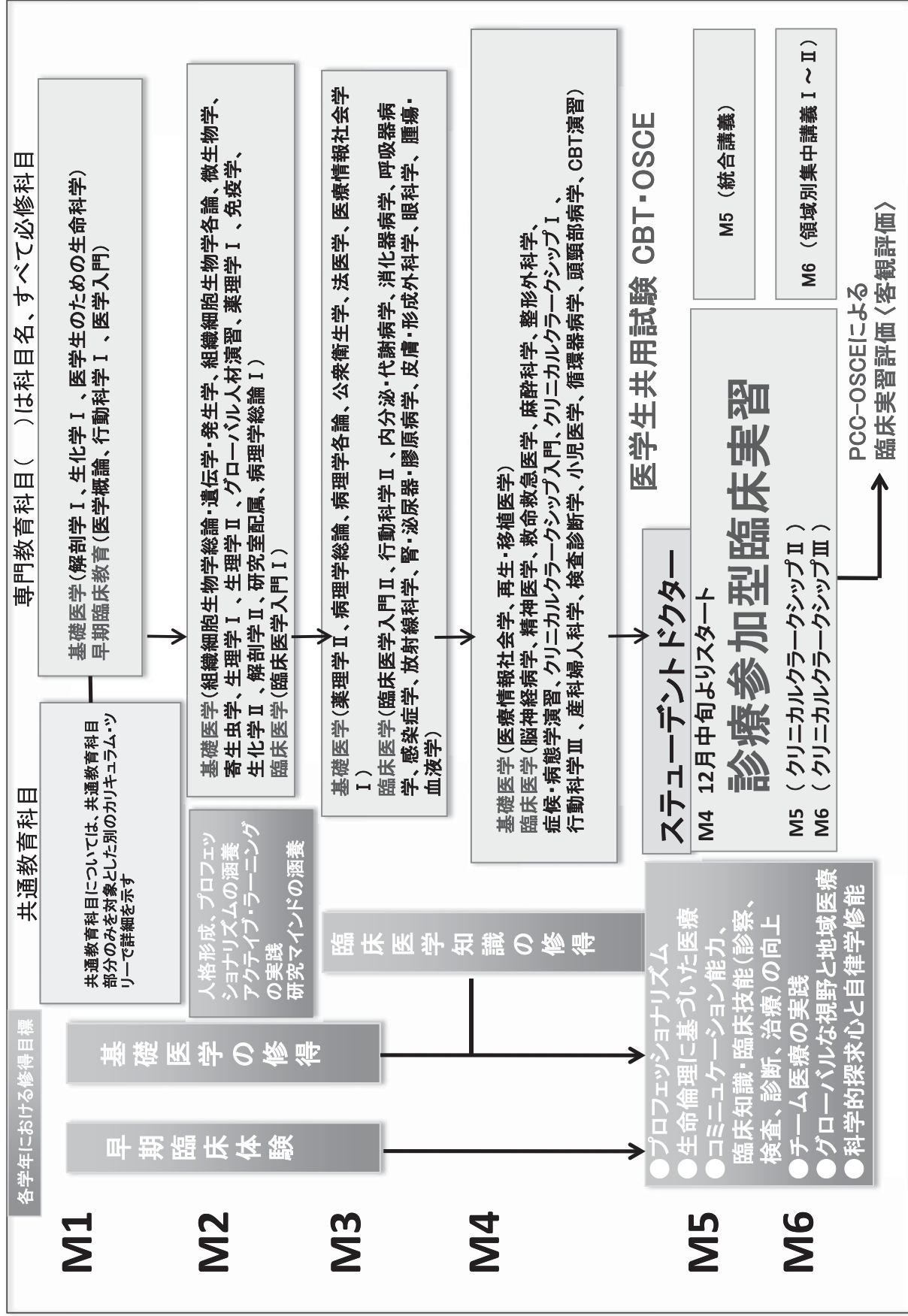
I. 学部教育の理念と目標

学位（教育）プログラム名：医学

科目名	科目区分	必選区分	配当年次	A) 知識・理解					B) 技能					C) 態度・志向性					
				A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5	C-1	C-2	C-3	C-4	C-5	
◆基礎教育科目◆																			
◆専門教育科目◆																			
(単位制科目)																			
医学概論	専門	必修	1	○							○			○	○			○	○
行動科学 I	専門	必修	1	○						○			○					○	○
医学生のための生命科学	専門	必修	1	○															
医学入門	専門	必修	1			○	○							○				○	○
解剖学 I	専門	必修	1	○	○	○	○							○					
生化学 I	専門	必修	1	○	○	○	○							○					
(基礎医学)																			
グローバル人材演習	専門	必修	2	○	○			○							○				
解剖学 II	専門	必修	2	○	○	○	○							○				○	
寄生虫学	専門	必修	2	○	○	○	○												
研究室配属	専門	必修	2	○	○	○	○							○					
生化学 II	専門	必修	2	○	○	○	○												
生理学 I	専門	必修	2	○	○	○	○												
生理学 II	専門	必修	2	○	○	○	○												
組織細胞生物学各論	専門	必修	2	○	○	○	○												
組織細胞生物学総論・遺伝学・発生学	専門	必修	2	○	○	○	○												
微生物学	専門	必修	2	○	○	○	○												
免疫学	専門	必修	2	○	○	○	○												
薬理学 I	専門	必修	2	○	○	○	○												
病理学総論 I	専門	必修	2	○	○	○	○												
公衆衛生学	専門	必修	3	○	○	○	○	○			○			○			○		
病理学各論	専門	必修	3	○	○	○	○												
病理学総論	専門	必修	3	○	○	○	○												
法医学	専門	必修	3	○	○	○	○							○				○	
薬理学 II	専門	必修	3	○	○	○	○												
医療情報社会学 I	専門	必修	3	○	○	○	○							○	○				
医療情報社会学	専門	必修	4	○	○	○	○							○	○				
再生・移植医学	専門	必修	4	○	○	○	○												
(臨床医学)																			
臨床医学入門 I	専門	必修	2	○	○	○	○	○	○								○		○
行動科学 II	専門	必修	3	○	○	○	○						○					○	○
感染症学	専門	必修	3	○	○	○	○												
眼科学	専門	必修	3	○	○	○	○												
呼吸器病学	専門	必修	3	○	○	○	○	○											
腫瘍・血液学	専門	必修	3	○	○	○	○						○						
消化器病学	専門	必修	3	○	○	○	○												
腎・泌尿器・膠原病学	専門	必修	3	○	○	○	○												
内分泌・代謝病学	専門	必修	3	○	○	○	○												
皮膚・形成外科学	専門	必修	3	○	○	○	○												
放射線科学	専門	必修	3	○	○	○	○												
臨床医学入門 II	専門	必修	3	○	○	○	○		○										
CBT 演習	専門	必修	4	○	○	○													○
行動科学 III	専門	必修	4	○	○	○	○												
頭頸部病学	専門	必修	4	○	○	○	○												
救命救急医学	専門	必修	4	○	○	○	○												
検査診断学	専門	必修	4	○	○	○	○												
産科婦人科学	専門	必修	4	○	○	○	○												
循環器病学	専門	必修	4	○	○	○	○												
小児医学	専門	必修	4	○	○	○	○								○				○
症候・病態学演習	専門	必修	4	○	○	○	○	○	○	○	○								
整形外科	専門	必修	4	○	○	○	○												
精神医学	専門	必修	4	○	○	○	○											○	
脳神経病学	専門	必修	4	○	○	○	○												
麻酔科学	専門	必修	4	○	○	○	○												
クリニカルクラークシップ入門	専門	必修	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クリニカルクラークシップ I	専門	必修	4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
統合講義	専門	必修	5	○	○	○	○			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クリニカルクラークシップ II	専門	必修	5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
クリニカルクラークシップ III	専門	必修	6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
領域別集中講義 I	専門	必修	6	○	○	○	○												
領域別集中講義 II	専門	必修	6	○	○	○	○				○								

※共通教育科目に関しては、共通教育科目に関するカリキュラム・マップで別に定める。

医学 カリキュラム・ツリー



ディプロマ・ポリシー(卒業時アウトカム)の達成